

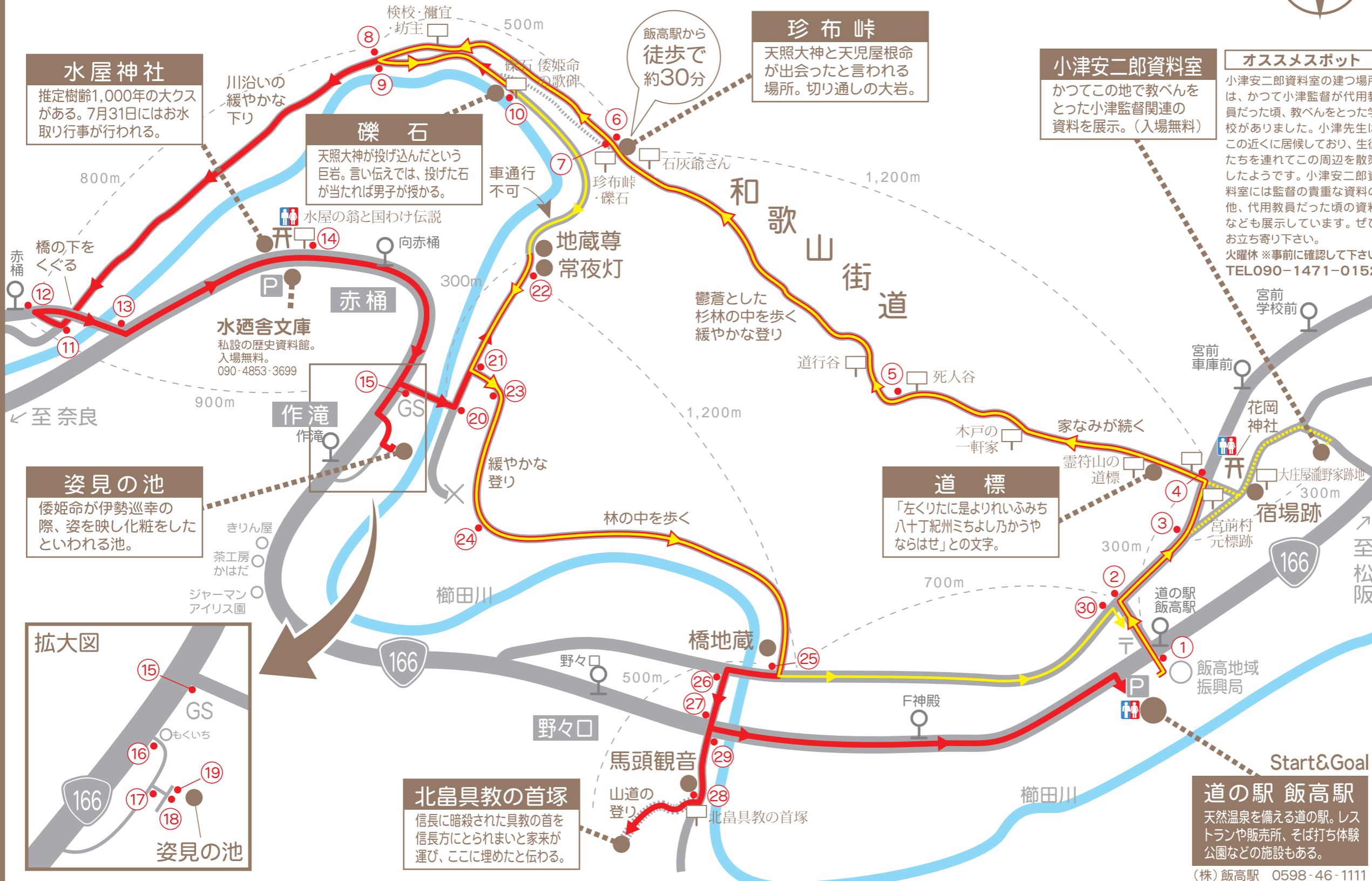
めずらし 珍布峠ウォーキングコース

道標→珍布峠→礫石→常夜灯→橋地蔵→飯高駅のコースなら4km、約1時間強の行程です

飯高町を横断する国道166号線は、伊勢と大和、和歌山を結んだかつての“和歌山街道”とほぼ一致します。この旧街道沿いには宿場町の面影をとどめる町並みや石碑、道標などを見ることができます。珍布峠ウォーキングコースは、飯高駅から本陣跡をかすめ、国分け伝説の旧跡“珍布峠”や“礫石”を巡る自然豊かな散策コースです。アップダウンが少なく、徒歩で約2時間、7.5kmほどの行程です

ロングコース 7.5km 2時間弱
 ショートコース 4.5km 1時間強
 ※ 距離や時間は目安です

ロングコース	→
ショートコース	→
コース案内板	●
名所・旧跡	●
観光看板	□
三重交通バス停	♀



水屋神社
 推定樹齢1,000年の大クスがある。7月31日にはお水取り行事が行われる。

礫石
 天照大神が投げ込んだという巨岩。言い伝えでは、投げた石が当たれば男子が授かる。

珍布峠
 天照大神と天児屋根命が出会ったと言われる場所。切り通しの大岩。

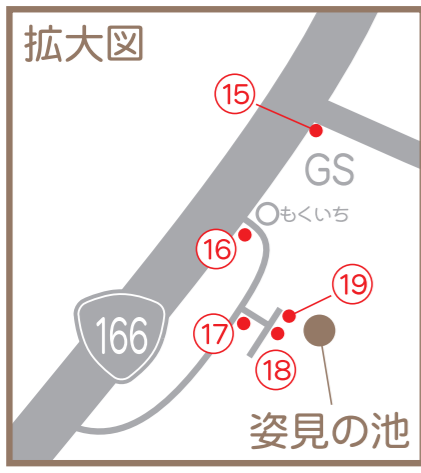
小津安二郎資料室
 かつてこの地で教べんをとった小津監督関連の資料を展示。(入場無料)

オススメスポット
 小津安二郎資料室の建つ場所は、かつて小津監督が代用教員だった頃、教べんをとった学校がありました。小津先生はこの近くに居候しており、生徒たちを連れてこの周辺を散策したようです。小津安二郎資料室には監督の貴重な資料の他、代用教員だった頃の資料なども展示しています。ぜひお立ち寄り下さい。
 火曜休 ※事前に確認して下さい
 TEL090-1471-0152

珍布峠・礫石 ~国分け伝説~

神代の昔、伊勢の神様である天照大神(あまてらすおおみかみ)が白馬に乗って旅をなされ、現在の飯高町宮前と赤桶の境にある峠(※1)にさしかかられた大神は、「伊勢と大和の国境がどこにあるか知る者はいないか」とお尋ねになられた。すると水屋の森から白髪の翁が大神の前に現れた。「おや、お珍しい。天児屋根命(あまのこやねのみこと)ではないか」春日の神である天児屋根命は峠の下を指して、「この下の境ヶ瀬が伊勢と大和の国境でございます」と申し上げた。この国境に疑問を持たれた大神は、石を川に投げ入れて波のとどまったところを国境にしようと、天児屋根命に持ちかけられた。大神は、そばにあった大石(※2)を軽々と持ち上げられ眼下の櫛田川に投げ入れられたところ、大量のしぶきが上がり滝のように落下した。その様から、この辺り一帯を“滝野”と名付けられ、その波が打ち寄せた場所を“加波(かば)”、“波瀬(はぜ)”、“舟戸(ふなと)”などと呼ぶようになった。結局、大神は「今日のこの日より高見山を国境としよう」とおっしゃり、伊勢と大和は高見山を境に分けられるようになった。

※1 《珍布峠》 ※2 《礫石》



北畠具教の首塚
 信長に暗殺された具教の首を信長方にとられまいと家来が運び、ここに埋めたと伝わる。

道の駅 飯高駅
 天然温泉を備える道の駅。レストランや販売所、そば打ち体験公園などの施設もある。
 (株)飯高駅 0598-46-1111